

すんもはん、画像がないばー



ウェルネスかごしま 健康増進魅力発掘プロジェクト ウェルネス素材部門

素材名	五感で感じる癒しの旅で、心身リフレッシュ！（免疫力アップ！）3. 屋久島癒しの旅③（自然編）
名前 （ニックネーム）	中村 弘和 様
所在地（県名）	鹿児島県

ポイント

【内容】西部エリアに点在する世界基準の観光資源を結ぶグリーンツーリズム

現在の屋久島観光の中心は、縄文杉や宮之浦岳、白谷雲水峡など東部エリアに集中しているが、西部エリアには車で行ける①西部林道（世界自然遺産登録）、②永田いなか浜（ラムサール条約登録）、③口永良部島（ユネスコパーク登録）と1島に3つの世界基準の自然が点在することから、新たな観光資源としてマーケットに訴求する。具体例は以下のとおり。

①西部林道（世界自然遺産登録評価基準の一つである植生の垂直分布を見る。ヤクシカやヤクザルを見る）

屋久島の世界自然遺産地域は約21%。唯一、車で遺産地域に入れる西部林道。屋久島が国内で初めて世界自然遺産に登録された評価基準（4項目中1項目以上が必要）は、生態系と自然美。ここ西部林道では、海岸で見られるサンゴ礁とガジュマルの亜熱帯気候から山頂の雪と氷の亜熱帯気候まで、南北に長い日本列島の気候・自然が標高差2000mの島に凝縮され、植生の垂直分布が間近に見れる場所。また、屋久島にはニホンザルの亜種であるヤクザルやニホンジカの亜種のヤクジカが生息。西部林道ではかなりの高い確率で車窓から見ることができる天然のサファリパーク。子供連れの家族旅行へも適及可能。

②永田いなか浜（北太平洋で最も高密度なアカウミガメの産卵場所）

絶滅危惧種であるウミガメの産卵地。ラムサール条約にも登録され、4月下旬から8月上旬に産卵のため上陸。例年、5月中旬～7月に地元の保護団体主催のウミガメ観察会が行われ、家族連れなどで賑わう。約2時間程掛けて穴を深く掘り、卵を産み、穴を埋め戻して戻る姿は癒しとともに、命の大切さや家族の絆を感じ・考える良い機会。

余談ではありますが、屋久島は花崗岩の上に成り立っていることから、奇岩が多く、土壌も薄く痩せていることから屋久杉をはじめ着生植物など、不思議な生態系が見られる。また、沿岸部も独特な岩盤地層が見られることから、NHKの「ブラタモリ」を誘致することで、地質マニアも訪れるのではと思う。